\ スポット紹介 /

1 六名堤（むつなつつみ）

1399年以前に乙川の流路の切り替えのために築堤された六名堤(久後崎の三島堤）は、岡崎市における治水事業の始まりと言われており、矢作川舟運の発展に寄与し、岡崎市の歴史に大きな影響を与えました。岡崎城の水害を防ぐため、意図的に低く造られた乗越堤の構造をしていたため、1882年10月の大雨により決壊し、多くの犠牲者や浸水被害を出した「久後崎切れ」が発生しました。

現在、三島堤の横には犠牲者の慰霊碑と、その後の治水対策の経過を記した三郡輪中治水碑が建てられており、当時の凄惨な出来事を後世に伝えています。

2 岡崎城

1452年から1455年にかけて、明大寺の地を拠点にしていた西郷弾正左衛門頼嗣によって、乙川北側の台地上に城が築かれ、これが岡崎城の始まりとされています。また、氾濫を繰り返していた矢作川の右岸（岡崎市北野町～矢作町区間）に堤防を築き、暴れまわっていた川筋を固定化させたのも頼嗣の業績とされています。

それから１世紀以上後、1590年に岡崎城主となった田中吉政は、城下町整備のために和泉・摂津から凄腕の石工を招きました。これが現在、岡崎の名産業となっている石工業の起源と言われています。

3 坂谷門（さかたに）

坂谷門は、江戸時代の初め、岡崎城の城主となった本多家により築かれました。徳川家康によって天下統一がもたらされた泰平の時代に新しく築かれたこの門は、城郭の役割が「戦時の砦」から「政治経済の拠点」、「城主の権威」に移り変わることに合わせ、天下統一を成し遂げた家康出生の城として岡崎城に高い格式が必要とされたために築かれたと考えられています。廃城令により取り壊されたこの門の全貌を明らかにするために過去に2度、発掘調査が実施されています。

4 まるや八丁味噌

岡崎を代表する地場産業、名産として全国的にも有名な「八丁味噌」は、岡崎城から八丁（約870m)離れた八丁村(現八丁町)で製造されることから、その名がついたとされています。

八丁の地は南北の矢作川舟運と東西の旧東海道が交わり、水陸交通の便が良かったため、原料となる大豆や塩を入手しやすく、更に矢作川の伏流水という良質な湧水や温暖な気候風土など、味噌造りにとって三拍子揃った立地条件でした。
これが、八丁味噌が発展した大きな要因の一つです。

＊コースマップの提示により、
まるや売店にて「全商品５％引きの特典」が受けられます！

5 カクキュー八丁味噌

何故、八丁の地では味噌造りをする際、米味噌や麦味噌ではなく、豆味噌を主流とする文化が生まれ、地域に定着したのでしょうか。これは岡崎を含む三河地方の夏は高温多湿で酸敗が起こりやすかったため、米味噌や麦味噌よりも高温に耐え長期保存ができる豆味噌が個性的な伝統食品として定着したものであると考えられています。

岡崎市では八丁の地がもつ落ち着いた環境・まちなみを保全するために、景観形成重点地区としてこの地を指定しています。

＊コースマップの提示により、カクキュー売店にて「味噌ソフトクリーム(カップ)50円引きの特典」が受けられます！

【注目】
スポット５ブース内にて、まるや×カクキューの味噌を使用した「八丁みそ食べ比べおにぎり」が数量限定で販売されます！

6 伊賀川（いがかわ）

伊賀川の沿岸には農地が広がっており、洪水により、多くの農作物に被害が出ていました。これを救済するために、1912年に伊賀川の付け替え工事が行われ、現在の位置、岡崎城の外濠などに付け替えられました。近年では、「平成20年８月末豪雨」により甚大な被害がありました。このような被害を再び発生させないため、平成21年(2009年)から平成27年(2015年)の間、愛知県と岡崎市が連携して床上浸水対策特別緊急事業を実施し、市内に流れる伊賀川をはじめ他４河川で河川改修を行いました。伊賀川で行われた改修区間の内、一部区間において、2018年度に公益社団法人土木学会の土木学会デザイン賞優秀賞を受賞しています。

7 御旗公園（みはた）

1590年に岡崎城主となった田中吉政は、石垣や天守の整備など岡崎城の近世城郭化を進めました。城下町の外周に築かれた大規模な「田中堀」とも呼ばれる総堀は、現在の御旗公園にまで及び、公園内には吉政像が設置されています。

8 籠田公園（かごだ）

城下町整備の際に招かれた優れた技術を持った石工たちが起源と思われる石工業。石製品を製作するための石材は「石切丁場」と呼ばれる採石場から採取されます。地形の起伏から籠田公園の北側、六供町にも石切丁場があったことが分かっており、この丁場跡は多くの石材が採取されたことにより、急傾斜な崖面となっていました。崖面の崩壊を防ぐため、愛知県と岡崎市が連携して、対策工事が実施されています。

9 諏訪神社

八町(現八丁町)の住人の中には、八丁味噌造りにおいて欠かせない原材料の「塩」を販売する商人たちがおり、1575年に三河国主である家康より塩を専売する権利が与えられます。これにより商人たちは岡崎を介して各地に塩が運ばれる際に口銭(売買の仲介手数料)を徴収するようになりますが、その代償として領主へ座銭を支払う必要があり、領主は納められた座銭を町の開発などに活用しました。諏訪神社には、塩問屋であった国分家から1588年に寄進された「石灯篭」が残っています。

10 備前屋

1782年、現代において「銘菓あわ雪」や「手風琴のしらべ」で知られる菓子舗「備前屋」が創業します。備前屋の店舗壁面には公用である伝馬を利用するための許可証「伝馬朱印状」に押される「駒牽朱印」のレプリカが彫られており、また、駒牽朱印と銘打ったお菓子も開発・製造されています。このように、店舗の意匠やお菓子自体に様々な歴史を織り交ぜ、この地に根付く歴史を脈々と現代に伝え続けています。

11 桜城橋（さくらのしろばし）

【殿橋】1927年、当時の最先端技術であった鉄筋コンクリート構造を用いて、殿橋が架橋されました。こうした道路交通網の発達などにより、物資輸送において陸上輸送が増え、また矢作川も様々な用水の通水などにより、流水量が減少しました。これらに伴い、川船の就航が困難となり、1935年から1944年の間に、中世において岡崎のまちの発展、産業の発展を支えた矢作川舟運をはじめとした川船輸送は終焉を迎えます。

【桜城橋】2020年３月、桜城橋が架橋されました。実は桜城橋は公園の施設です。約2,000㎡の橋上広場ではさまざまなイベントが開催されており、豊富な公共空間を活用してまちの活性化を目指す「QURUWA(くるわ)戦略」のプロジェクトとして、まちなかに賑わいを創出しています。

対象スポットで、
スタンプを押そう！
全部で５か所！

①六名堤	②岡崎城	④まるや八丁味噌	⑦御旗公園	⑩備前屋



2026.11月1日(日) 8:30-15:00まで(小雨決行) ／ 受付時間 8時30分～12時まで

第20回 ブラアイチ in 岡崎 まちあるきコースマップ

ブラアイチ in 岡崎を より楽しんでいただくために

◆コースマップを参考に、各自のペースで歩いてください。
◆コースは、推奨ルートです。
◆全スポットで説明員による解説を聞くことができます。
◆交通ルールとウォーキングマナーを守りましょう。

・ゴミは「各自」でお持ち帰りください。
・歩きながらの「喫煙」や「飲酒」はご遠慮ください。
・横に広がって歩かないでください。
・私有地への無断立ち入りはご遠慮ください。
・草花や木の実などを取らないでください。

・ご自身の体力や体調等を考慮し、余裕をもってご参加ください。
・ウォーキング途中での「水分補給」も忘れずにお願いします。
・記載コースの「距離」は目安です。

＼＼＼ 参加特典 ／／／

愛知県の「ブラアイチ in 岡崎」のページにある「６.内容、参加特典」より詳細をご確認ください。

同日コラボ開催

名鉄のハイキング

岡崎市制110周年記念 岡崎城下家康公 秋まつり

！情報発信中！

WEB ブラアイチ
SNS Facebook X Instagram

TEL
岡崎市土木建設部河川課調整係
【緊急連絡先(当日)】 090-1477-3037

主催 愛知県、岡崎市
協力 愛知・川の会、愛知環状鉄道株式会社、愛知環状鉄道連絡協議会、あいち橋の会、岡崎石製品工業協同組合、岡崎石工団地協同組合、協同組合岡崎石製品工場公園団地、中北薬品株式会社、名古屋鉄道株式会社、合資会社八丁味噌(屋号カクキュー)、合名会社備前屋、マルサンアイ株式会社、株式会社まるや八丁味噌、株式会社ヤクルトマーケティング東海 （五十音順）

2026.11月1日(日) 8:30-15:00まで(小雨決行)

第20回 ブラアイチ in 岡崎 まちあるきコースマップ

＼ コース距離：約 6.1 km ／

110th ANNIVERSARY OKAZAKI

【受付】桜城橋（さくらのしろばし） 南側 ＼スタート／

1 六名堤（むつなつつみ） スタンプ

2 岡崎城 スタンプ

3 坂谷門（さかたに）

4 まるや八丁味噌 スタンプ

5 カクキュー八丁味噌

6 伊賀川（いがわ）

7 御旗公園（みはた） スタンプ

8 籠田公園（かごだ）

9 諏訪神社

10 備前屋 スタンプ

11 桜城橋（さくらのしろばし）

【受付】桜城橋（さくらのしろばし） 南側 ＼ゴール／


2　岡崎城


4　まるや八丁味噌の味噌桶

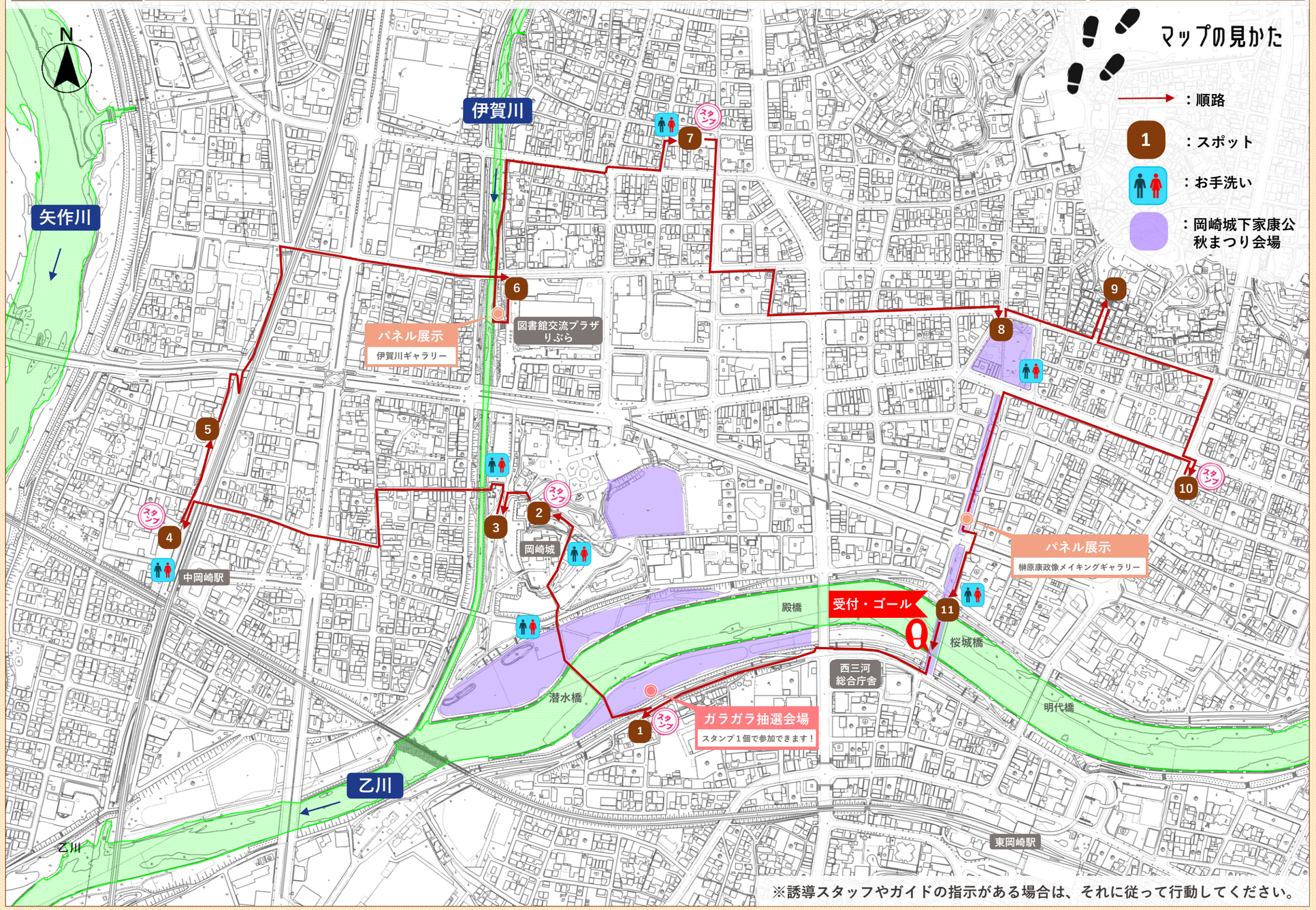

5　カクキュー事務所


6　伊賀川の「多自然川づくり」


8　甲山丁場跡　北側


11　殿橋橋脚


11　桜城橋



※誘導スタッフやガイドの指示がある場合は、それに従って行動してください。